

【平成29年度特別研究】

(1) 研究課題名

職域における健康に関する組織風土への影響要因の検討

看護学科 千葉 敦子  
村上真須美  
栄養学科 メリッサ小笠原

はじめに

職場の風土は、労働者個々のストレスや満足度、行動に影響を及ぼすものであり、活力あるいきいきとした職場は、労働者の健康を増進し生産性を高めることが知られている。産業看護職は労働者個人に加え、集団や組織をも対象にして支援を行うことから、その職場の風土がどのような状態にあるのかを客観的に評価することが求められている。そこで、産業看護活動の実践に役立つ「健康風土尺度」の開発を行うことを目的とした。

今回は、予備的調査として、①国内外の組織風土に関する文献検討を実施したので報告する。  
\* 健康風土：従業員の健康に価値を置く文化と定義する。

①国内外の組織風土に関する文献検討

方法：医学中央雑誌Web版を用いて、2017年6月に「風土尺度」のキーワードで検索を行い、会議録を除いた15件の論文を分析対象とした。対象論文の内容から開発年、尺度の意図、活用方法について検討した

風土尺度に関する年度別論文



研究方法による分類

方法	本数
尺度開発	6
実態調査	4
関連検証	2
レビュー	1
効果検証	1
尺度の解説	1

尺度の内容

安全風土尺度
メンタルヘルス風土尺度
組織風土尺度
集団凝集性尺度
学級風土尺度

考察

風土尺度はいくつか開発されており、組織風土を健康増進のための重要な要素と捉えた知見が蓄積されつつあるが、産業看護職の活動の実践に役立つような健康全般の風土を測定するための尺度は見当たらなかった。産業看護職は職場風土そのものに介入していくことが求められている。しかし、経営理念や就業規則までの介入は難しいことが多く、健康という側面から、労働者および企業にとって望ましい風土を作りあげていくことが求められる。職場の健康風土がどのような状態にあるのかを評価することで、改善策を講じることが可能となり、また、対策の評価が可能となることから、より有効な産業看護活動の示唆を得ることができ、労働者の健康増進に寄与できる意義がある。

今後は、産業看護職が活動に活かせるような、職場の健康風土尺度の開発とともに、開発された健康風土尺度を用いた労働者の健康風土知覚と職場の健康増進に対する取り組みとの関連性について検討することも必要である。